



132

コロナ禍でも、ロシアのウクライナ侵攻で世界経済が急変しても、田舎でも、『売れる物件は売れる』といふことを証明したのが、今回取り上げる「THE YOKOHAMA FRONT TOWER」である。この物件は、相鉄不動産(横浜市西区)と東急(渋谷区)の2社が売り手で、常に住みたい街の上位(トップ3)に上がり、抜群の利便性と人気を誇る横浜駅の駅直結・複合再開発タワーという最強条件の商品である。販売価格は、第1期が好条件住宅中心だったこともあり、平均分譲坪単価は700万円を超えている(全体の平均では600万円台前半程度)か。東京の高額都心3区(港・渋谷・千代田)に匹敵する価格水準である。販売サロン・モデルルームが横浜駅前の横浜ベイシエラホテル内につくられ、第2期の集客を開始。完全予約制にもかかわらず3月末時点で1200組を超える新規来場者数となっており、第1期に続いて販売絶好調が予想される。

①横浜駅直結の利便性・希少性の高さ

言いつまでもなく、過去にもこれからも二度と出てこないであろう希少な立地、横浜駅の西口側で、駅からは徒歩3分、ペDESTリアンデッキで駅とつながる計画だが、横浜駅は周辺が商業・業務地区のため住宅はほとんどない。徒歩3分圏では、これまでのマンション分譲もゼロというように立地の希少価値が抜群に高い。

②日本初の国家戦略住宅整備事業という複合再開発タワー  
42階に「グローバルスカ」

「THE YOKOHAMA FRONT TOWER」(相鉄不動産・東急)

好調要因

駅直結、横浜ナンバー1物件

③外観デザインや共用付加価値スペース・サービスも充実  
④複合施設、6〜12階がホテルとサービスパートメント

⑤直接基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑥直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑦直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑧直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑨直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

③外観デザインや共用付加価値スペース・サービスも充実  
④複合施設、6〜12階がホテルとサービスパートメント

⑤直接基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑥直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

《物件概要》

事業主：相鉄不動産・東急  
所在地：横浜市神奈川区鶴屋町1-41 ●交通：JR東海道線・京浜東北線・横浜線・京浜急行線・相鉄線・東急東横線・みなとみらい線・横浜一駅徒歩3分  
●総戸数：459戸(第1期 販売戸数129戸) ●専有面積(全体)：55・48  
●161・62平方メートル(平均92・91平方メートル) ●販売価格(第1期)：1億0060万円〜6億6800万円(平均2億0152万円・第1期) ●平均坪単価：717万円(第1期) ●販売開始：2022年1月 ●竣工：23年12月

⑦直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑧直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑤直接基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑥直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑦直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑧直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い

⑨直結基礎の制振タワーで大規模施工、仕様設備グレードも高い